



教育目標 ともに かがやく

曾根小だより

HP <http://www.nishikawa-sone-e.city-niigata.ed.jp/>

新潟市立曾根小学校

新潟市西蒲区曾根750番地

全校児童172名(家庭数142)

令和6年5月1日発行



やる気と笑顔にあふれ、ともにかがやく学校を目指して

校長 古井丸 裕三

4月が終わりました。この一か月間、子どもたちは、新しい学年にふさわしい姿になることを目指して、試行錯誤を重ねながら一生懸命に頑張っていました。何かが新しく始まる時には、不安や戸惑い、困難を伴うものですが、それらの全ての経験が、子どもたちをたくましく成長させるのだと思います。これからの成長を楽しみにしながら、長い目で見守っていきたいと思います。

さて、4月26日(金)には、沢山の保護者の皆様から、学習参観・学年懇談会、PTA 総会にお越しいただきました(PTA 総会の会場には、**90名近くの方**からお集まりいただきました)。当校の教育活動やPTA 活動に高い関心をもっていただいていることに対して、喜びを感じるとともに、改めて感謝を申し上げたいと思います。PTA 総会後の時間をいただき、今年度の**教育ビジョン(教育活動で特に大切にしたいこと)**について、以下のように説明させていただきました。



【令和6年度の教育ビジョンについて】

曾根小学校の教育目標は、「**ともに かがやく**」です。この学校に長い間受け継がれてきた、学校のありべき姿を示したすばらしい教育目標だと思います。今年度も、教職員一同、この教育目標の実現を目指して、心を込めて教育活動に取り組んでいきます。

さて、学校は、「社会に出るための準備をするところ」「そのために必要な資質・能力や態度を育てるところ」です。今年度、曾根小学校では、これからの社会をたくましく生き抜くために必要とされる、以下の4つの「**資質・能力や態度**」を育てることに重点を置き、教育活動を行っていきます。

①**思考する力(学ぶ意欲をもち、考えを広げ深める力)**

「学ぶこと」には、二通りの方法があります。一つは、新しい知識や技能を「覚える」こと、もう一つは、身に付けた知識や技能を使って「考える」ことです。加速度的に技術革新と情報化が進み、あらゆる作業が機械化・AI化されていくこれからの社会では、決まったやり方で効率的に行う力にとどまらず、直面する様々な変化を柔軟に受け止め、新たな価値を生み出していくことが求められます。「主体的・対話的で深い学び」の実現を目指した授業づくりを通して、学ぶ意欲をもち、友達(多様な他者)との意見交換(対話)や協働を通して、課題の解決に向けて「思考する力」を育てていきます。

②**協働する力(互いの個性を認め合い、協力して活動する力)**

各学年が1学級ずつの当校では、入学したときから互いをよく知る関係が続き、安心して生活することができています。その一方で、人間関係が固定化しがちになり、友達の成長や新たな面に気づきにくく、新たなコミュニケーションの機会が少ないなどの課題もあります。そこで、異学年交流活動の機会を充実

させ、多様な人間関係を築くとともに、協力して活動する経験を多くさせたいと思います。また、学級のあ
るべき姿について話し合い、自分たちの行動の仕方を考える「学級力プロジェクト」への取組を通して、同
じ目標に向かって「協働する力」を育てていきます。

③自律する力（自分で目標を決め、適切に判断しながら粘り強く取り組む力）

「頑張れない」「すぐあきらめる」「苦手なことはやらない」、そんな子どもが増えてきているのではない
かと不安を感じることがあります。困難な状況を乗り越える力(レジリエンス)を向上させるためには、「自
己肯定感」と「自己指導能力」を育てることが必要です。自分の内側から湧き上がる本当の自己肯定感は
褒められただけでは生まれず、自分の力で困難な状況を乗り越えた時に生まれます。子どもたちの頑張っ
た過程を認め、励ますとともに、適度な負荷・負担を用意した活動、自ら考え、判断する自己決定の機会
を意図的に設定することにより、「自律する力」を育てていきたいと思います。

④多様性の理解と受容につながる態度

どの子にも学びやすい学習環境の整備と子ども一人一人の教育的ニーズを把握し、適切な指導・支援
を行うことにより、学習上、生活上の困難を主体的に改善・克服しようとする力を育てます。それとともに、
共生社会の形成に向けて求められる、相互に尊重し支え合い、多様なあり方を認め合える「多様性の理
解と受容」の態度の基礎を育てたいと思います。

これらの資質・能力及び態度は、学校の教育活動だけで育てられるものではありません。子どもは、最
も身近な大人である親の姿を見て育ちます。保護者・地域の皆様からの協力が不可欠です。学校も家庭
も地域も、子どもの健やかな成長を願う気持ちは同じです。ともに子どもを育てるパートナーとして、学
校の教育活動に関心をもち、支え続けていただければと思います。

また、学校において、教育活動を充実させ、子どもたちを成長させる原動力は、教職員の教育に懸ける
情熱と仕事に対するやりがいです。それは、子どもが成長する姿と保護者のみなさんから支えられて
いるという実感から得られます。教職員は、子どもたちの成長を願い、日々の教育活動に取り組んでい
ます。その頑張りを認め、温かく励まし、応援していただくことが、学校の教育力の向上につながります。

学校と家庭と地域が、同じ目標に向かって共に取り組むことにより、子どもたちのやる気と笑顔がか
がやく学校をつくることができます。今年度も、当校の教育活動へのご理解とご協力をお願いいたします。



◆「1年生を迎える会」を行いました 4月23日(火)

児童会「かしの木委員会」が計画し、各学年で分担して準備に取り組みました。1年生を仲間として迎
え入れ、これからみんなで支えていこうという2～6年生の温かい気持ち、上級生に温かく迎えられてう
れしい1年生の気持ちで体育館が一杯になった、そんなひとときになりました。

